



2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月10日
京成電鉄株式会社

- 1. 2021年3月期 第2四半期連結決算**
- 2. 2021年3月期 連結業績予想**
3. 現況下での取り組み状況
4. 今後の経営方針について
5. 参考資料

1-1. 業績概要 [損益計算書]

新型コロナウイルス感染症の影響 (営業収益△465億円)

■ 連結損益計算書

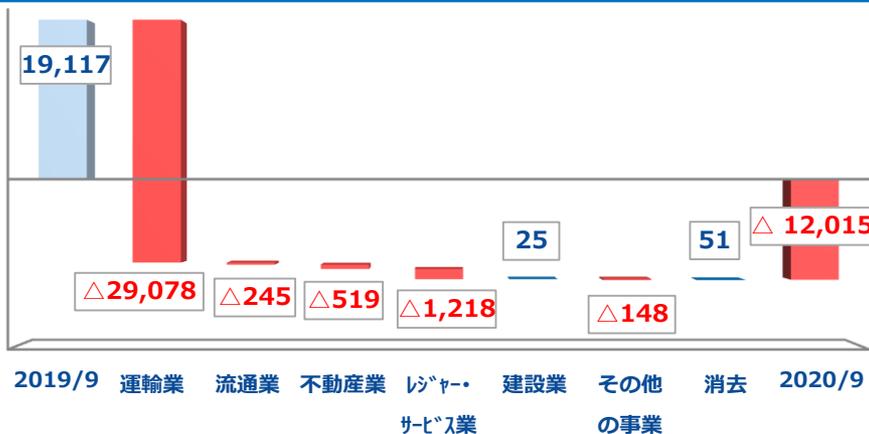
単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率
営業収益	99,501	138,007	△38,505	△ 27.9
営業利益	△12,015	19,117	△31,133	-
(営業利益率)	-	13.9	-	-
経常利益	△19,928	28,431	△48,359	-
持分法投資利益	△9,415	9,770	△19,186	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△18,278	21,176	△39,455	-
減価償却費	15,006	13,555	1,450	10.7

■ 営業収益増減 (セグメント別)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



第2四半期末までに、必要な手元資金増強を実施。

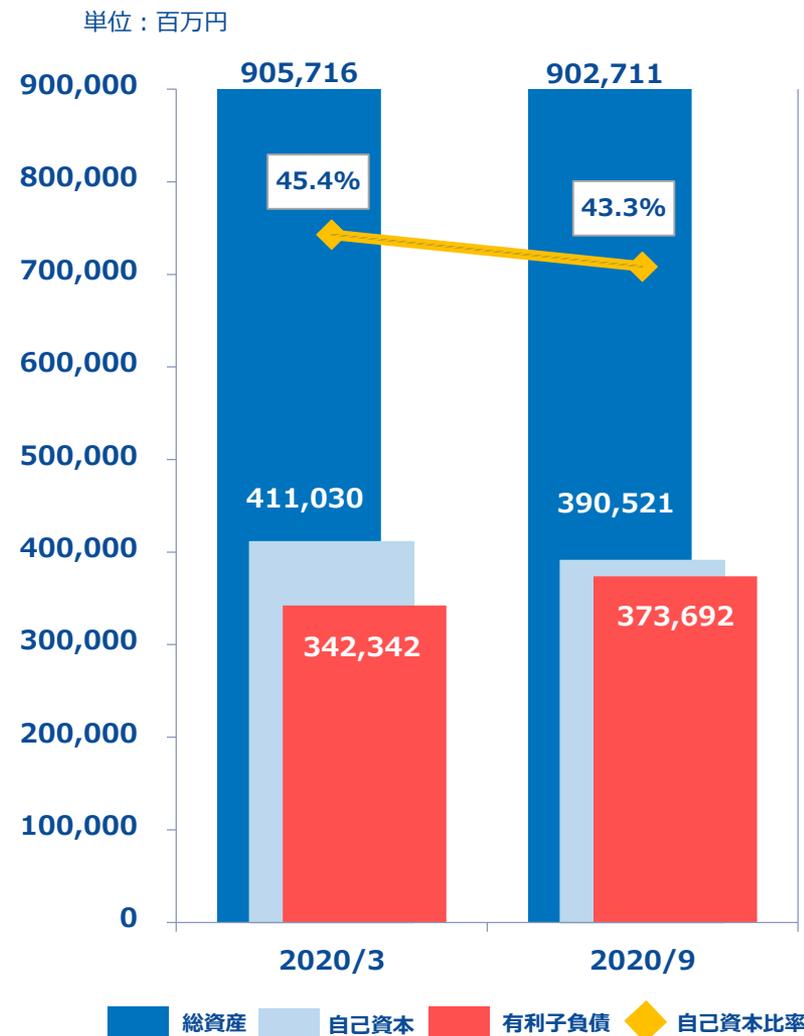
■ 連結貸借対照表

単位：百万円、%	2020/9 実績	2020/3 実績	増減
総資産	902,711	905,716	△3,004
有利子負債残高 ※	373,692	342,342	31,350
純資産	408,413	428,664	△20,250
自己資本	390,521	411,030	△20,508
自己資本比率	43.3	45.4	△2.1pt

※有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2020/9 実績	2019/9 実績	増減
営業CF	△1,175	30,935	△32,110
投資CF	△13,305	△20,140	6,835
(フリーCF)	(△14,480)	(10,794)	(△25,275)
財務CF	24,904	△7,208	32,113
現金及び 現金同等物の増減額	10,424	3,585	6,838



1-3. 新型コロナウイルス感染症の影響

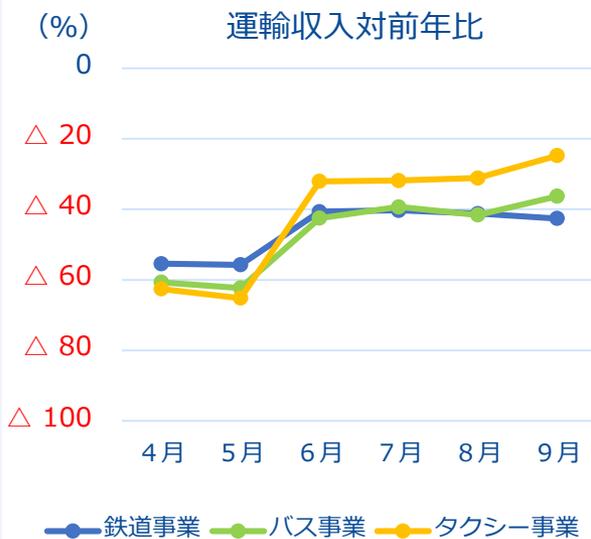
■ 減収額（2021年3月期 第2四半期累計）約465億円

- ・ 運輸業 380億円（鉄道事業200億円、バス事業130億円、タクシー事業50億円）
- ・ 流通業 45億円（百貨店業26億円、ストア業のコンビニ等16億円、その他3億円）
- ・ その他 40億円（ホテル業10億円）

■ 影響を受けた主な事業の状況（2020年4月～9月）※1

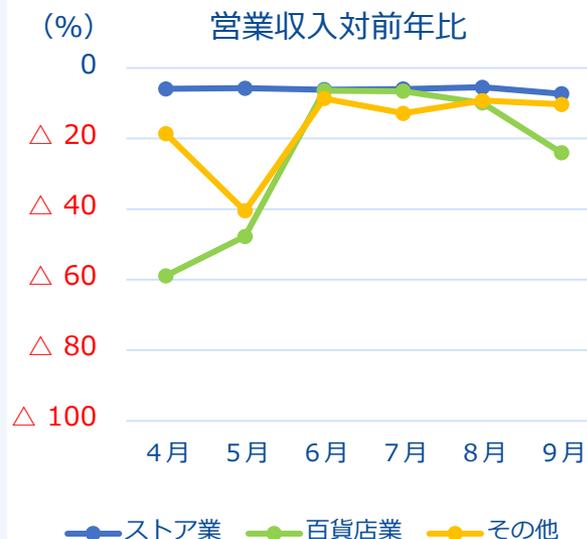
運輸業

運輸収入対前年比



流通業

営業収入対前年比



ホテル業

営業収入対前年比



※1 連結修正前

※2 ストア業は、スーパーマーケットのほかコンビニ等を含む

※3 水戸・千葉はシティホテル、門前仲町は宿泊特化型ホテル

1-4. 営業収益（2021年3月期 セグメント別四半期業績）

運輸業、流通業などで第2四半期の営業収益は増加

単位：百万円、%	2020/9 実績	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	2019/9 実績	増減	率
営業収益	99,501	46,449	53,052	138,007	△38,505	△27.9
運輸業	49,181	21,661	27,520	80,192	△31,010	△38.7
鉄道事業	23,710	10,709	13,001	42,533	△18,823	△44.3
バス事業	15,476	6,572	8,903	24,012	△8,536	△35.5
タクシー事業	9,994	4,379	5,614	13,645	△3,651	△26.8
流通業	29,435	13,881	15,553	33,793	△4,358	△12.9
不動産業	10,657	5,530	5,126	13,454	△2,796	△20.8
レジャー・サービス業	2,794	1,245	1,548	4,665	△1,871	△40.1
建設業	10,516	5,527	4,989	10,894	△378	△3.5
その他の事業	3,440	1,411	2,029	4,279	△838	△19.6

第2四半期の営業収益回復に伴い、赤字幅縮小

単位：百万円、%	2020/9 実績	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	2019/9 実績	増減	率
営業利益	△12,015	△8,285	△3,729	19,117	△31,133	-
運輸業	△15,401	△10,062	△5,338	13,677	△29,078	-
鉄道事業	△6,608	△4,271	△2,336	10,752	△17,360	-
バス事業	△6,234	△4,088	△2,145	2,755	△8,989	-
タクシー事業	△2,558	△1,702	△856	169	△2,727	-
流通業	21	27	△6	266	△245	△92.1
不動産業	4,095	2,083	2,011	4,615	△519	△11.3
レジャー・サービス業	△1,254	△676	△578	△35	△1,218	-
建設業	511	381	129	485	25	5.3
その他の事業	35	△28	63	183	△148	△80.9

2-1. 業績予想の前提条件

■ 前提条件

- 新型コロナウイルス感染症拡大による再度の緊急事態宣言発出等による社会的制限が実施されないことを前提としています。

● 全体

足元の回復基調を踏まえ、下期以降も緩やかに回復

● 成田空港輸送

2021年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、同年6月にかけて段階的に回復

● 定期輸送

2021年6月にかけて例年の9割程度まで回復

● 定期外輸送（成田空港輸送除く）

下期以降は緩やかに回復し、2021年6月には例年並みの水準に回復

※実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。

今後の動向を踏まえ、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示します。

2-2. 業績予想概要（前期比較）

有利子負債については、第2四半期末と同水準を維持

単位：百万円、%	2021/3 今回予想	2020/3 実績	増減	率
営業収益	219,100	274,796	△55,696	△20.3
営業利益	△13,700	28,320	△42,020	-
（営業利益率）	-	10.3	-	-
経常利益	△26,700	41,705	△68,405	-
持分法投資利益	△15,100	13,950	△29,050	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	△26,200	30,110	△56,310	-
減価償却費	30,200	29,085	1,114	3.8
有利子負債残高 ※	375,000	342,342	32,657	9.5
EBITDA倍率 （倍）※	23.3	6.0	17.3pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

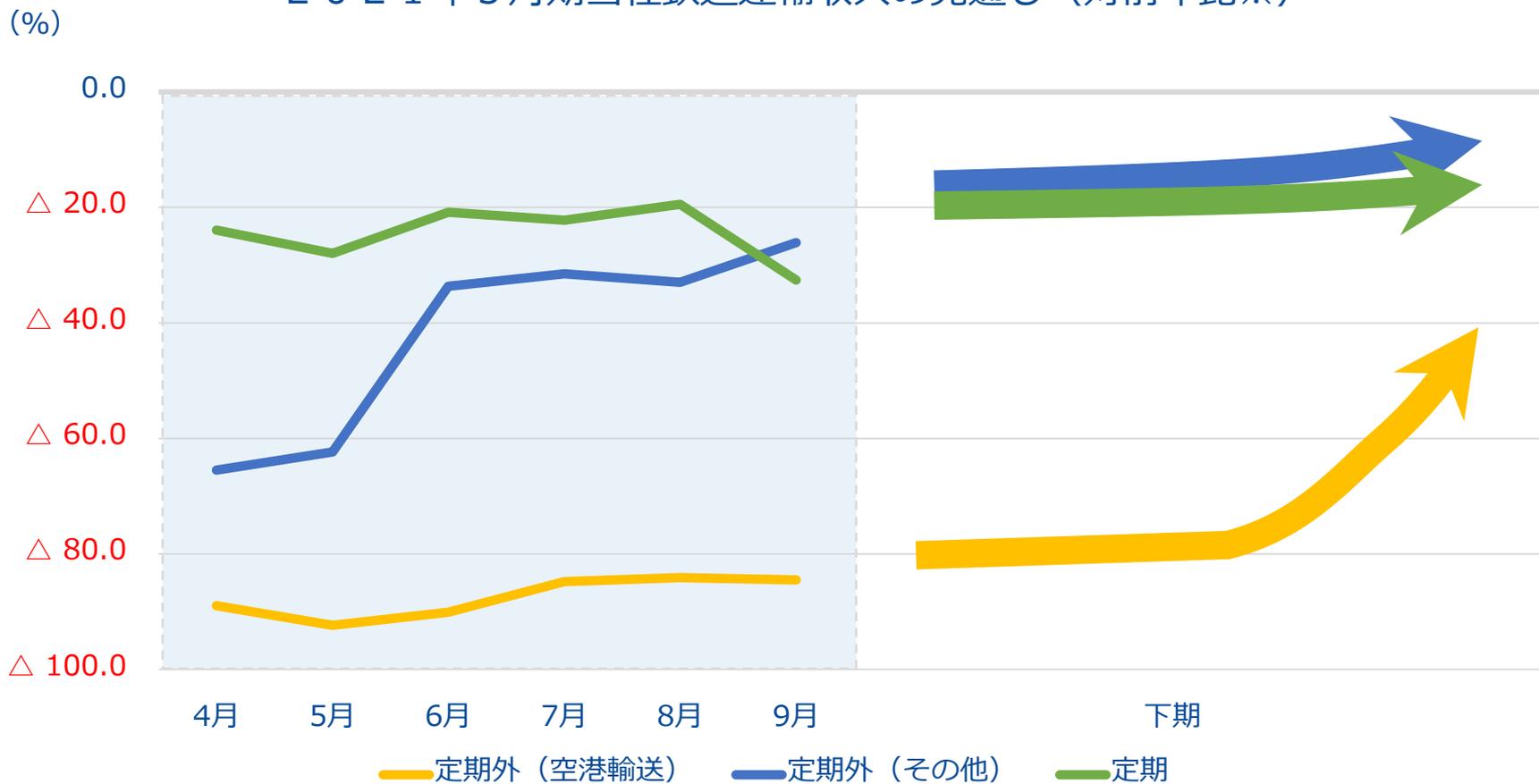
（単位：百万円）



■ 鉄道運輸収入（定期・定期外）の見通し [当社単体]

オリンピック・パラリンピック開催に向け、需要は段階的に回復

2021年3月期当社鉄道運輸収入の見通し（対前年比※）



※上期実績・下期予想（2月、3月はコロナウイルスの影響のない2019年との比較）

■ 運輸業のコスト削減（営業費）

単位：億円	2021/3 予想	2020/3 実績	増減
運輸業	1,216	1,365	△149
鉄道事業	605	664	△59
バス事業	373	430	△57
タクシー事業	238	271	△33

※当期の業績予想及び前年度実績における、
連結範囲の変更による影響は除く

■ 投資抑制

単位：億円	2021/3 予想	2020/3 実績	増減
投資額	349	532	△183
運輸業	238	353	△115
鉄道事業	200	249	△49
バス事業	28	76	△48
タクシー事業	10	28	△18
流通業	15	11	4
不動産業	93	164	△71
その他	3	4	△1

■ 事業環境の変化を見極めつつ、各種営業施策を展開

■ 運輸業

- ・国内旅客の誘致
 - －成田空港発着国内ツアー商品の発売
 - －地方都市におけるスカイライナーのPR
 - －各種イベント列車の運行
- ・新規需要の喚起
 - －スカイライナー停車駅の追加
 - －臨時ライナーの運行
- ・BRT事業の推進

■ 不動産業

- ・新規分譲マンションの販売
- ・収益賃貸物件の開発・取得
- ・高架下への店舗等の誘致
- ・自治体との空き家対策等での連携
 - －墨田区、葛飾区と連携協定を締結

■ 流通業

- ・コンビニエンスストアの店舗拡充
- ・ショッピングセンター店舗のリニューアル
- ・移動スーパーの運行

■ レジャー・サービス業

- ・飲食業における新業態店舗の出店
- ・ドライブインシアターの実施
- ・料理のデリバリーサービスの開始

1. 2021年3月期 第2四半期連結決算
2. 2021年3月期 連結業績予想
- 3. 現況下での取り組み状況**
4. 今後の経営方針について
5. 参考資料

3-1. 各事業の取り組み状況（運輸業）

■ 国内旅客の誘致、新規需要の喚起

- ・ 成田空港発着国内ツアー商品の発売
- ・ 「京成スカイライナーDAY」の開催
 - プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの試合に協賛し、広告看板の掲出とイベントを実施し東北エリアの方にスカイライナーをPR
- ・ 各種イベント列車の運行
 - 懐かしの京成電車ツアー 等



デビュー当時の塗色を再現した3600形車両

- ・ スカイライナーの一部青砥駅停車
- ・ 通勤時間帯の臨時ライナーの運行

■ お客様サービスの向上

- ・ 車両の更新（3100形）



抗菌・抗ウイルス加工済ステッカー



車内案内表示器
・ 防犯カメラ

- ・ 駅施設のバリアフリー化推進（八千代台駅等）
- ・ 駅のリニューアル（京成西船駅等）



八千代台駅に設置したエレベーター



リニューアル後の京成西船駅改札

3-1. 各事業の取り組み状況 (運輸業)

■ ホーム安全対策の強化

- ホームドアの設置
- 成田空港駅 (2020年7月供用開始)



成田空港駅に設置したホームドア

■ 災害対策の強化

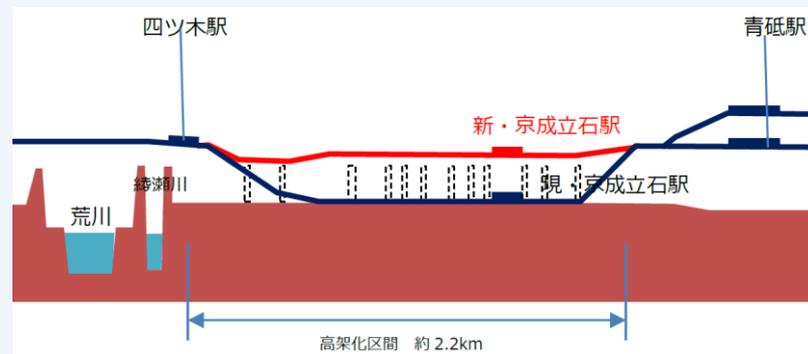
- 法面補強工事の推進 (宗吾参道駅～公津の杜駅間)
- 耐震補強工事の推進



法面補強工事 (宗吾参道駅～公津の杜駅間)

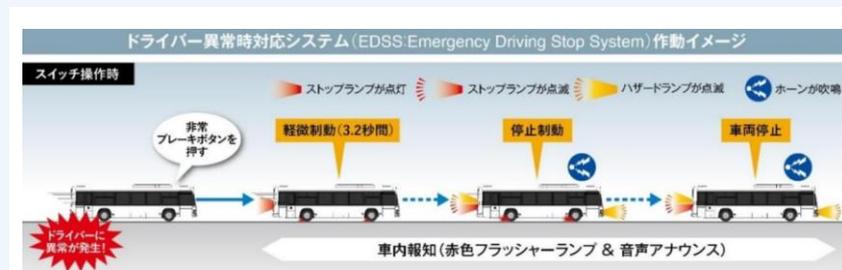
■ 連続立体交差事業の推進

- 葛飾区内連続立体交差化工事 (四ツ木駅～青砥駅間)
- 立体交差化により11か所の踏切を解消



■ 異常時対応の強化

- 「ドライバー異常時対応システム」搭載 大型路線バスの導入



作動イメージ

3-1. 各事業の取り組み状況（運輸業）

■ BRT事業の推進

- ・ BRT事業の推進により、東京都の臨海地域における豊洲市場の開場や環状2号線等の整備、住宅開発などによる交通需要の増加に速やかに対応し、輸送ネットワークを拡大
- ・ 2019年7月 「東京BRT(株)」を設立
- ・ 2020年10月 プレ運行開始

[参考] プレ運行（一次）の概要

運行事業者	京成バス
運行ルート	虎ノ門ヒルズ～新橋～晴海BRTターミナル 新橋～晴海BRTターミナル
運行時間	6時台～22時台
運賃	220円（現金・IC同額、小児半額） BRT専用一日乗車券、定期券を発売
使用車両	単車車両8両 （燃料電池バス5両、ディーゼルバス3両） 連節車両1両 （ディーゼルハイブリットバス）



燃料電池バス



連節ディーゼルハイブリットバス



停留施設



プレ運行（一次）ルート

3-1. 各事業の取り組み状況（流通業）

■ 店舗の拡充・リニューアル

- ・ コンビニエンスストアの店舗拡充
 - － 駅構内を中心に55店舗を展開（2020年度2店舗出店）



55店舗目となる新鎌ヶ谷駅構内店

- ・ ショッピングセンター店舗のリニューアル



リニューアル後のユアエルム成田店

■ ストア業における取り組み

- ・ 移動スーパー「リブレ京成 とくし丸」の運行
 - － 八千代台ユアエルム店、アルビス前原店で実施



移動販売の様子

- ・ 船橋市との「地域見守り協定」の締結
 - － 移動販売を通じ高齢者の見守りや防犯に協力



協定締結式の様子

■ 分譲マンションの販売

・ サングランデ本八幡 [25戸] (2020年7月竣工)



・ パークホームズ千葉 [253戸] (2021年度竣工予定)



・ サングランデ八王子 [56戸] (2020年度竣工予定)



3-1. 各事業の取り組み状況（不動産業）

■ 収益賃貸物件の開発・取得

- ・安定収益が得られる収益物件の開発・取得
- ・当社、グループ会社所有地の有効活用



ホテルリブマックス
日本橋小網町



スカイグランデ
京成小岩



京成東上野ビル



スカイグランデ新御徒町

■ 千葉中央エリアの活性化

- ・千葉中央駅西口ビルの建て替え（2021年度開業予定）
 - 千葉中央駅直結 地上8階建て複合ビル
 - 商業施設、オフィス、ホテルが入居予定



■ 高架下の活用

- ・高架下にスーパーマーケットやレンタルオフィス等を誘致し、地域の利便性を向上



まいばすけっと西日暮里駅東店

■ 新たな店舗・サービスの展開

・新業態店舗の出店

－イウォレ京成による100時間カレーEXPRESS
の新規出店（ららぽーと東京ベイ店、ニッケ
コルトンプラザ店）



ららぽーと東京ベイ店の外観

・ドライブインシアターの実施

－イウォレ京成が上映業務等を受託



上映の様子

・デリバリーサービスの開始

－千葉京成ホテル（ミラマーレ）が千葉市内限定
で、ホテルの料理をご自宅やオフィスにお届け
するサービスを開始

3-2. 地域社会との共生に関する取り組み状況

■ 自治体・教育機関等との連携強化

- ・産官学での連携協定の締結
 - 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォームとの包括協定の締結



調印式の様子

- 八千代市、京成バラ園、秀明大学による観光振興に関する連携協定の締結



調印式の様子

- ・市進学院との連携講座の実施
 - (株)市進ホールディングスと連携し、親子向けにオンライン鉄道講座を実施



オンライン講座の様子

- ・空き家対策に関する自治体との連携
 - 沿線での空き家対策推進のため、墨田区、葛飾区とそれぞれ連携協定を締結

■ CSR活動の推進①

- ・職業体験型プログラム等の開催
 - －ちば子ども大学



－けいせいキッズデー



■ CSR活動の推進②

- ・旧博物館動物園駅の活用



台東区「わくわく歴史・文化探検隊」

- ・「京成電鉄藝術賞」の創設
 - －東京藝術大学の卒業・修了予定の学生による優れた作品を当社において表彰

■ コーポレート・ガバナンスの強化

- ・社外取締役の増員（3名→4名、比率1/3）
- ・女性取締役の選任

- 1 2021年3月期 第2四半期連結決算
- 2 2021年3月期 連結業績予想
- 3 現況下での取り組み状況
- 4 今後の経営方針について**
- 5 参考資料

4-1. 中期経営計画「E4プラン」概要

■現時点では収益拡大を目指す「E4プラン」の方針を維持

■E4プラン最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,900億円
以上

営業利益
330億円
以上

営業利益率
11.3%
以上

有利子負債残高
上限3,200億円
(EBITDA倍率 上限5.1倍)

■E4プラン基本戦略

- 戦略1 地域社会との共生による京成グループのプレゼンス強化
- 戦略2 グループ経営体制の充実並びにコーポレート・ガバナンスの強化
- 戦略3 インバウンド市場の深耕
- 戦略4 既存事業の強化による収益拡大
- 戦略5 安全・安心の確保並びにサービス品質の向上
- 戦略6 新たな成長ビジョンの確立

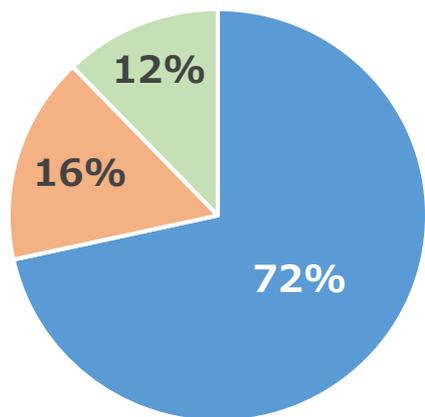
4-2. 戦略投資

■ 戦略投資は継続

(参考) 戦略投資枠について

中長期的な収益拡大に向けた投資に対応するため「E4プラン」期間で500億円程度の戦略投資枠を設定、現時点で7割程度の使途が確定

確定した使途内訳



- 収益賃貸物件
- 空港輸送の増強
- M&A・会社設立

具体的案件 (主要なもの)

収益賃貸物件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京成リッチモンドホテル 2号店 (錦糸町) 計画 ■ 京成リッチモンドホテル 3号店 (押上) 計画 ■ 千葉中央駅西口ビル建替 ■ 京成東上野ビル 取得 (2020年3月) ■ スカイグランデ京成小岩 取得 (2019年9月) 他
空港輸送の増強	<ul style="list-style-type: none"> ■ スカイライナー1編成増備 (2019年9月) ■ 宗吾車両基地の拡充に向けた用地買収 他
M&A・会社設立	<ul style="list-style-type: none"> ■ 帝都自動車交通による三信交通(株)及び大森交通(株)のM&A (2019年4月) ■ 関東鉄道(株)のTOB (2019年10月) ■ 式田建設工業(株)のM&A (2019年4月) 他

4-3. 輸送力増強

■ 成田空港利用者の中長期的な回復・増加を見据え、輸送力増強の検討を継続

成田スカイアクセス線の設備改良

成田スカイアクセス線における更なる輸送力増強のため、線路容量の拡大や駅の改良等によるボトルネック解消を検討



車両・駅等のあり方

成田空港利用者の増加に対応すべく、スカイライナー車両・停車駅等のあり方を検討

※ ○ …スカイライナー停車駅

車両基地の機能強化

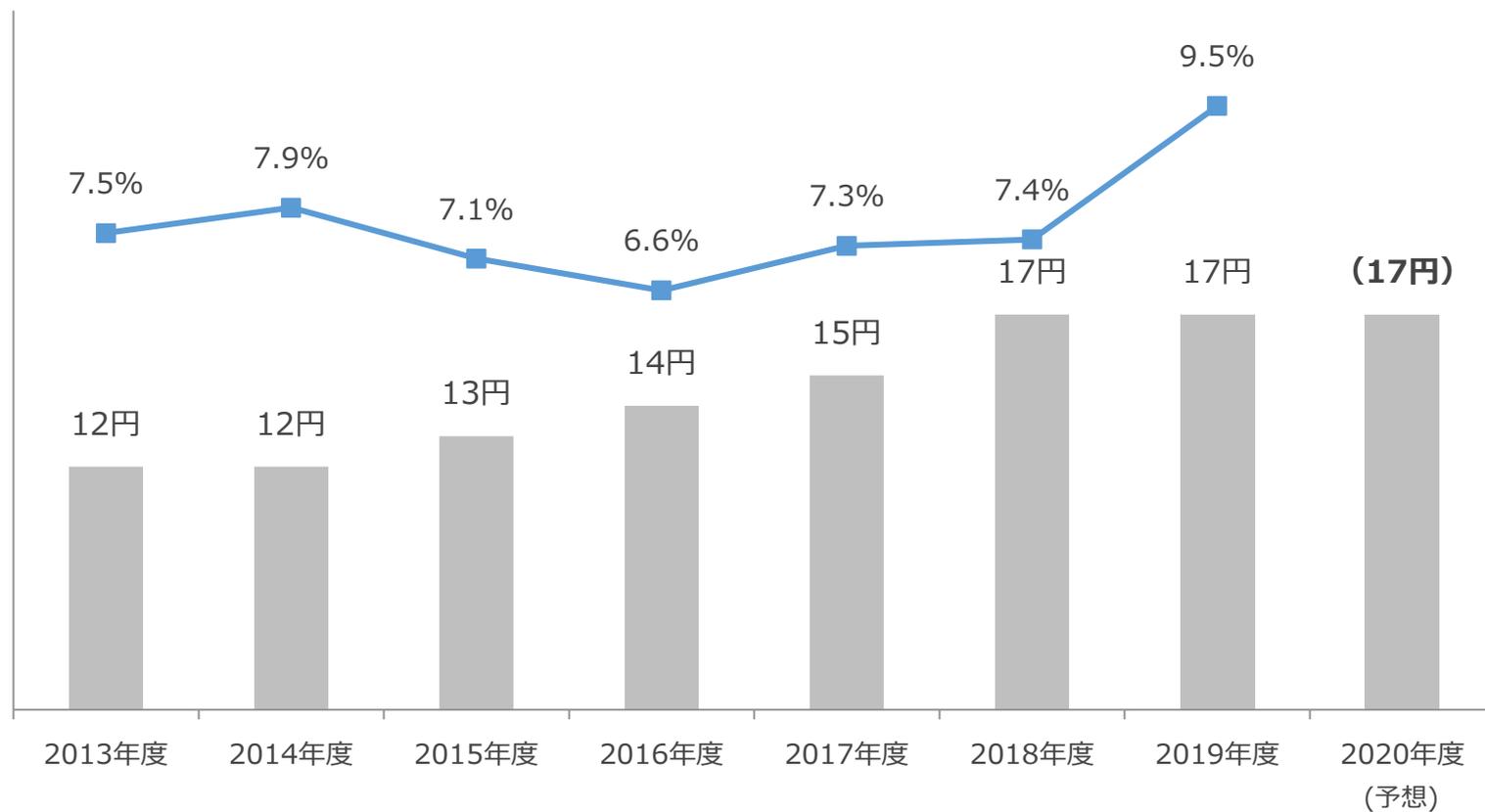
弾力的な車両運用に対応すべく、宗吾車両基地を建替・拡充

⇒用地買収を推進

4-4. 株主還元について

■ 「E4プラン」の方針に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移



- 1 2021年3月期 第2四半期連結決算
- 2 2021年3月期 連結業績予想
- 3 現況下での取り組み状況
- 4 今後の経営方針について
- 5 **参考資料**

空港輸送を中心に新型コロナウイルスの影響による減収

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	49,181	80,192	△31,010	△38.7	
鉄道事業	23,710	42,533	△18,823	△44.3	新型コロナウイルスの影響による減収（△200億円） 関東鉄道※の連結（+9億円）
バス事業	15,476	24,012	△8,536	△35.5	新型コロナウイルスの影響による減収（△130億円） 関東鉄道※及び同子会社3社の連結（+24億円）
タクシー事業	9,994	13,645	△3,651	△26.8	新型コロナウイルスの影響による減収（△50億円） 関東鉄道子会社4社の連結（+3億円）
営業利益	△15,401	13,677	△29,078	-	
鉄道事業	△6,608	10,752	△17,360	-	
バス事業	△6,234	2,755	△8,989	-	
タクシー事業	△2,558	169	△2,727	-	

減価償却費	12,472	11,247	1,225	10.9
-------	--------	--------	-------	------

※関東鉄道は複数セグメント会社です。

5-1. 2021年3月期第2四半期セグメント別業績 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人

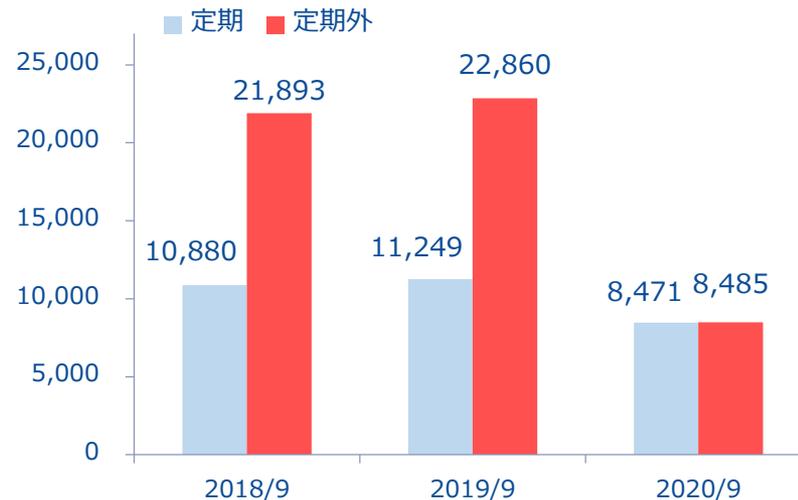
単位：千人、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率
定期	67,713	91,001	△23,288	△25.6
定期外	33,989	62,229	△28,240	△45.4
合計	101,702	153,230	△51,528	△33.6



■ 旅客運輸収入

単位：百万円

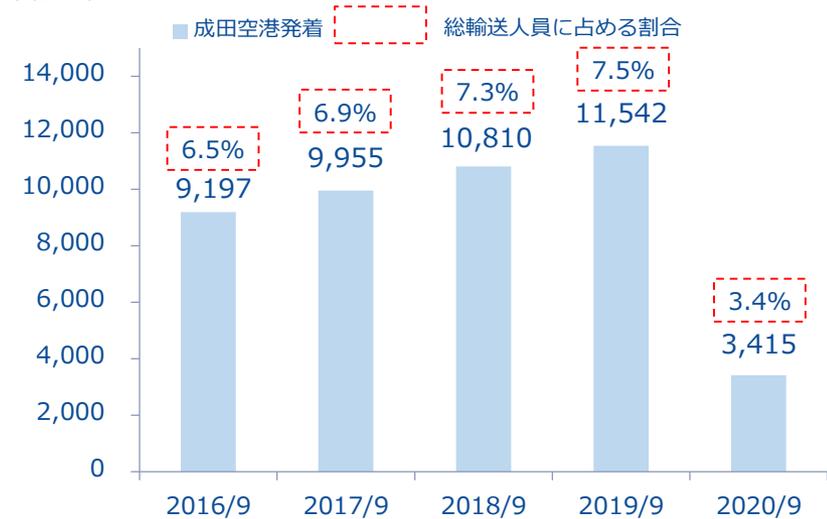
単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率
定期	8,471	11,249	△2,778	△24.7
定期外	8,485	22,860	△14,374	△62.9
合計	16,956	34,109	△17,153	△50.3



■ 輸送人員

単位：千人、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率
成田空港発着	3,415	11,542	△8,127	△70.4
有料特急	446	3,169	△2,723	△85.9

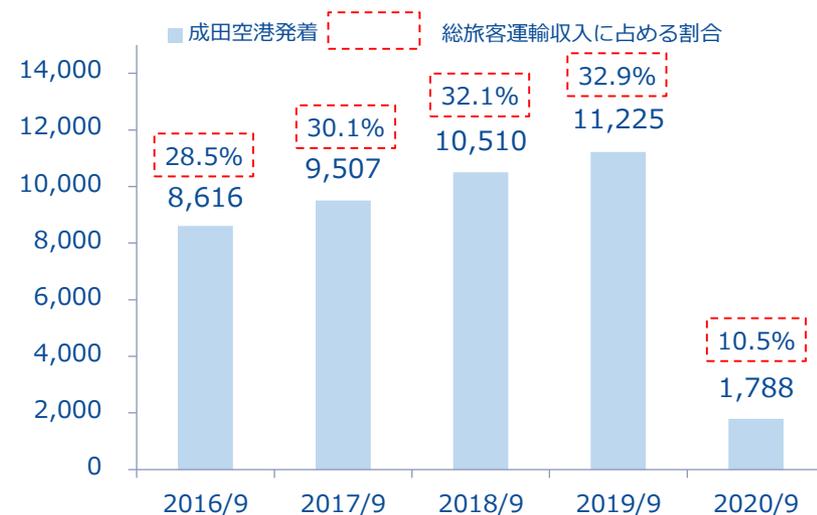
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率
成田空港発着	1,788	11,225	△9,436	△84.1
有料特急	304	3,038	△2,733	△90.0

単位：百万円



5-1. 2021年3月期第2四半期セグメント別業績（流通業）

百貨店、コンビニは減収の一方、スーパーマーケットでは増収

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	29,435	33,793	△4,358	△12.9	
ストア業	17,744	18,529	△784	△4.2	新型コロナウイルスの影響によるコンビニ等の減収（△16億円） スーパーマーケット需要増による増収
百貨店業	9,510	12,554	△3,043	△24.2	新型コロナウイルスの影響による減収（△26億円）
その他	2,180	2,709	△529	△19.5	新型コロナウイルスの影響による減収（△3億円）
営業利益	21	266	△245	△92.1	※主な新店等 京成ストア（リブレ京成） ・三咲店 一時閉店（2019年5月） ⇒業務スーパーとしてオープン（2019年10月） コミュニティー京成（ファミリーマート） ・道野辺中央店 オープン（2019年11月） ・千葉みなと店 オープン（2020年3月） ・千葉NT中央駅ホーム店 オープン（2020年7月） ・新鎌ヶ谷駅構内店 オープン（2020年8月）
ストア業	239	144	95	65.8	
百貨店業	△204	11	△215	-	
その他	△14	110	△124	-	
スーパーマーケット店舗数 ※	20	20	0	-	
コンビニエンスストア店舗数 ※	55	51	4	-	

5-1. 2021年3月期第2四半期セグメント別業績（不動産業）

マンション分譲は、前期は第1四半期に実施、当期は下期に実施予定

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	10,657	13,454	△2,796	△20.8	
賃貸業	7,319	6,483	835	12.9	駅構内賃貸収入の計上セグメント変更、関東鉄道子会社2社の連結子会社化、新規賃貸物件通期寄与※
販売業	1,267	4,806	△3,538	△73.6	前年同期サングランデ ザ・レジデンス千葉の全戸引き渡し等の反動
管理業	2,071	2,165	△93	△4.3	
営業利益	4,095	4,615	△519	△11.3	
賃貸業	4,043	3,640	402	11.1	※主な分譲マンション・新規賃貸物件
販売業	△52	860	△912	-	分譲マンション（2019年度）
管理業	104	113	△9	△8.5	・サングランデ ザ・レジデンス千葉 イーストレジデンス 90戸 ・サングランデ津田沼 9戸
減価償却費	1,996	1,790	205	11.5	新規賃貸物件
マンション 販売戸数（戸）※	0	99	△99	-	・ホテルリブマックス日本橋小網町（2019年9月） ・京成東上野ビル（2020年3月）

■ レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	2,794	4,665	△1,871	△40.1	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	△1,254	△35	△1,218	-	

■ 建設業

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	10,516	10,894	△378	△3.5	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	511	485	25	5.3	

■ その他の事業

単位：百万円、%	2020/9 実績	2019/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	3,440	4,279	△838	△19.6	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	35	183	△148	△80.9	

5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想

営業収益の下期は、すべてのセグメントで上期実績を上回る

単位：百万円、%	2021/3 今回予想	上期実績	下期予想	2020/3 実績	増減	率
	営業収益	219,100	99,501	119,598	274,796	△55,696
運輸業	112,800	49,181	63,618	161,089	△48,289	△30.0
鉄道事業	54,400	23,710	30,689	82,424	△28,024	△34.0
バス事業	35,500	15,476	20,023	50,242	△14,742	△29.3
タクシー事業	22,900	9,994	12,905	28,422	△5,522	△19.4
流通業	61,600	29,435	32,164	68,321	△6,721	△9.8
不動産業	25,300	10,657	14,642	24,648	651	2.6
レジャー・サービス業	6,700	2,794	3,905	10,524	△3,824	△36.3
建設業	25,800	10,516	15,283	27,245	△1,445	△5.3
その他の事業	8,600	3,440	5,159	9,977	△1,377	△13.8

5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想

営業利益の下期は、上期実績より赤字幅を縮小

単位：百万円、%	2021/3 今回予想	上期実績	下期予想	2020/3 実績	増減	率
	営業利益	△13,700	△12,015	△1,684	28,320	△42,020
運輸業	△20,800	△15,401	△5,398	17,921	△38,721	-
鉄道事業	△8,300	△6,608	△1,691	14,744	△23,044	-
バス事業	△9,100	△6,234	△2,865	2,939	△12,039	-
タクシー事業	△3,400	△2,558	△841	237	△3,637	-
流通業	△100	21	△121	389	△489	-
不動産業	8,300	4,095	4,204	8,446	△146	△1.7
レジャー・サービス業	△2,100	△1,254	△845	△140	△1,959	-
建設業	800	511	288	1,617	△817	△50.5
その他の事業	200	35	164	316	△116	△36.8

5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想 (運輸業)

営業収益の前期比は、上期実績の4割減から、通期では3割減に改善

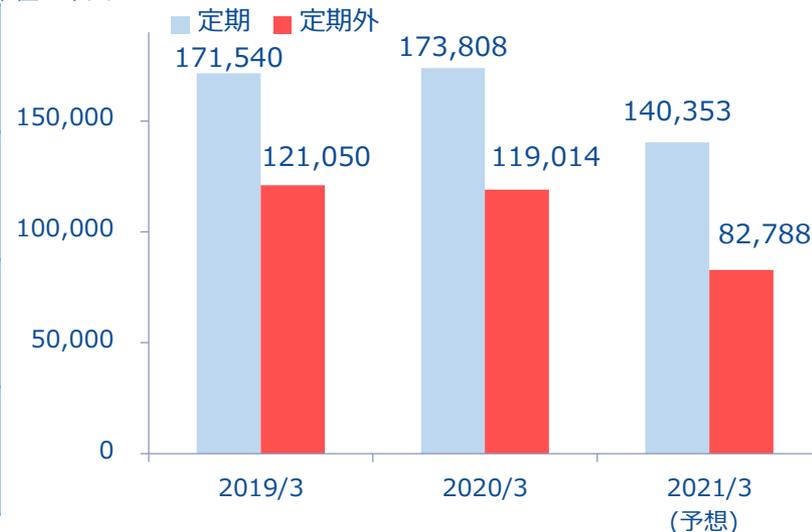
単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	112,800	161,089	△48,289	△30.0	
鉄道事業	54,400	82,424	△28,024	△34.0	新型コロナウイルスの影響による減収
バス事業	35,500	50,242	△14,742	△29.3	新型コロナウイルスの影響による減収
タクシー事業	22,900	28,422	△5,522	△19.4	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	△20,800	17,921	△38,721	-	
鉄道事業	△8,300	14,744	△23,044	-	
バス事業	△9,100	2,939	△12,039	-	
タクシー事業	△3,400	237	△3,637	-	
減価償却費	25,100	24,222	877	3.6	

5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率
定期	140,353	173,808	△33,455	△19.2
定期外	82,788	119,014	△36,226	△30.4
合計	223,141	292,822	△69,681	△23.8

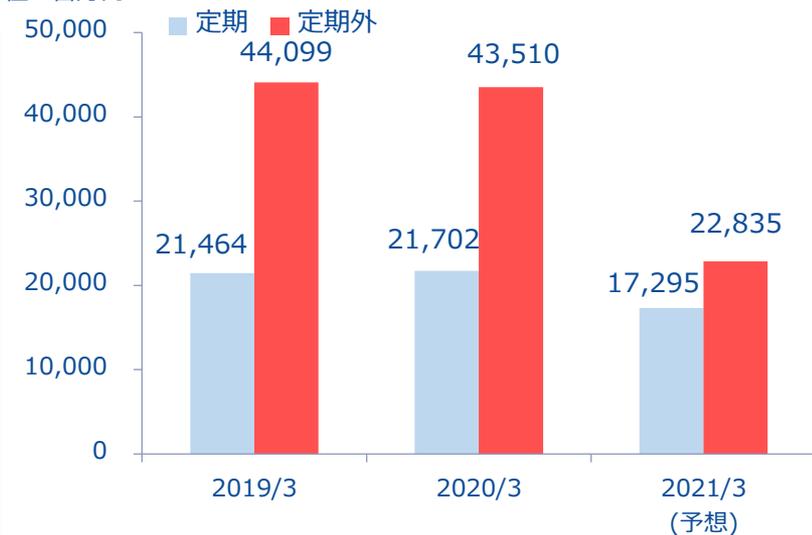
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率
定期	17,295	21,702	△4,406	△20.3
定期外	22,835	43,510	△20,674	△47.5
合計	40,131	65,213	△25,081	△38.5

単位：百万円

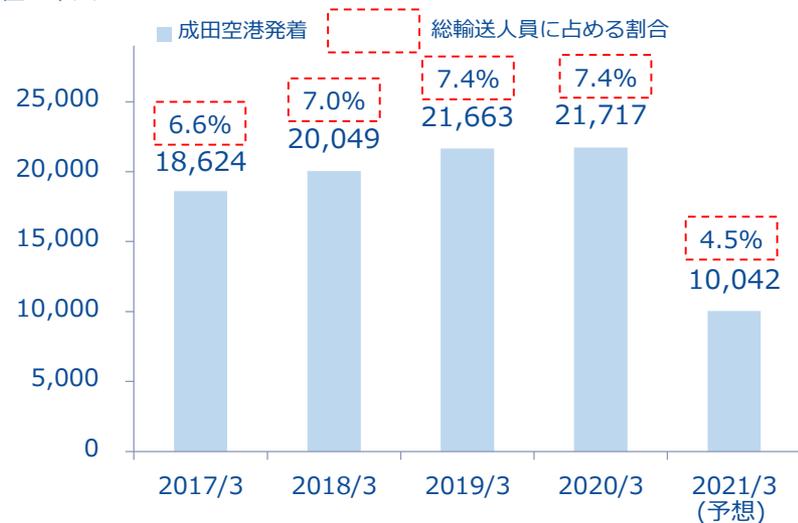


5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率
成田空港発着	10,042	21,717	△11,675	△53.8
有料特急	1,445	6,079	△4,634	△76.2

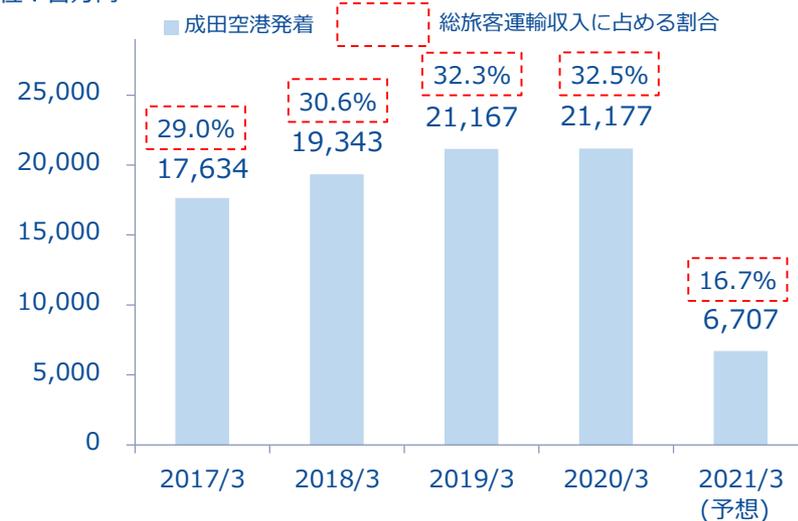
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率
成田空港発着	6,707	21,177	△14,470	△68.3
有料特急	1,190	5,843	△4,653	△79.6

単位：百万円



5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想（流通業）

ストア業は、スーパーマーケットの需要増等で増益を確保

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	61,600	68,321	△6,721	△9.8	
ストア業	35,300	37,425	△2,125	△5.7	新型コロナウイルスの影響による減収
百貨店業	21,600	25,351	△3,751	△14.8	新型コロナウイルスの影響による減収
その他	4,700	5,544	△844	△15.2	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	△100	389	△489	-	※主な新店 コミュニティー京成（ファミリーマート） ・千葉NT中央駅ホーム店 オープン（2020年7月） ・新鎌ヶ谷駅構内店 オープン（2020年8月）
ストア業	300	245	54	22.1	
百貨店業	△300	10	△310	-	
その他	△100	133	△233	-	
スーパーマ ーケット店舗数	20	20	0	-	
コンビニエンス ストア店舗数 ※	55	53	2	-	

5-2. 2021年3月期 セグメント別業績予想（不動産業）

賃貸業は、新規物件の貢献で増収増益

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	25,300	24,648	651	2.6	
賃貸業	14,600	13,786	813	5.9	新規賃貸物件の稼働※
販売業	7,100	6,585	514	7.8	分譲マンションの差異※
管理業	3,600	4,276	△676	△15.8	
営業利益	8,300	8,446	△146	△1.7	※主な分譲マンション・新規賃貸物件
賃貸業	8,000	7,235	764	10.6	分譲マンション（2019年度）
販売業	200	932	△732	△78.5	・サングランデ ザ・レジデンス千葉 イーストレジデンス 90戸
管理業	100	279	△179	△64.2	・サングランデ津田沼 9戸
減価償却費	4,000	3,786	213	5.6	分譲マンション（2020年度）
マンション 販売戸数（戸）※	81	99	△18	－	・サングランデ八王子 56戸 ・サングランデ本八幡 25戸
					新規賃貸物件
					・スカイグランデ新御徒町（2020年2月） ・京成東上野ビル（2020年3月）

■ レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	6,700	10,524	△3,824	△36.3	新型コロナウイルスの影響による減収
営業利益	△2,100	△140	△1,959	-	

■ 建設業

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	25,800	27,245	△1,445	△5.3	
営業利益	800	1,617	△817	△50.5	

■ その他の事業

単位：百万円、%	2021/3 予想	2020/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,600	9,977	△1,377	△13.8	
営業利益	200	316	△116	△36.8	

5-3. 長期経営計画「Eプラン」 – 概要

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12か年〕

E1プラン (2010～2012年度)	E2プラン (2013～2015年度)	E3プラン (2016～2018年度)	E4プラン (2019～2021年度)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■ 最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,800億円以上

営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

経営理念

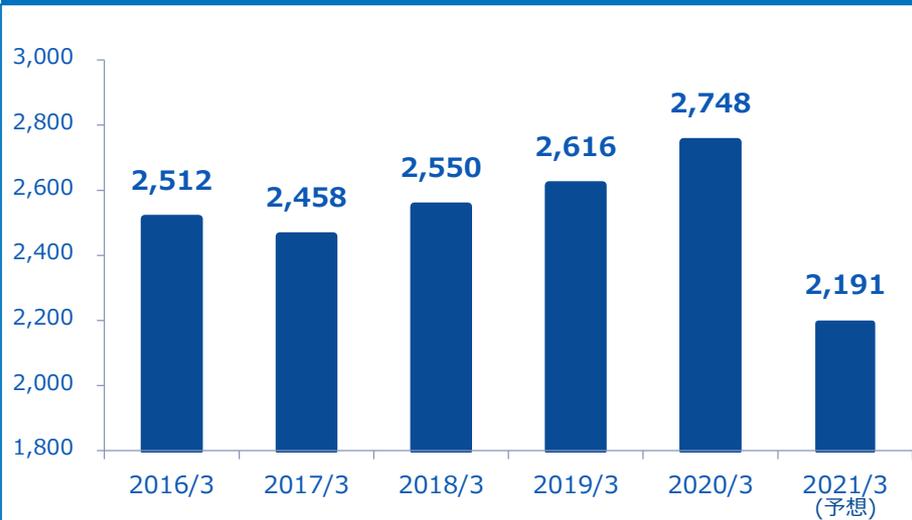
長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3か年計画)

5-3. 長期経営計画「Eプラン」 – 進捗状況

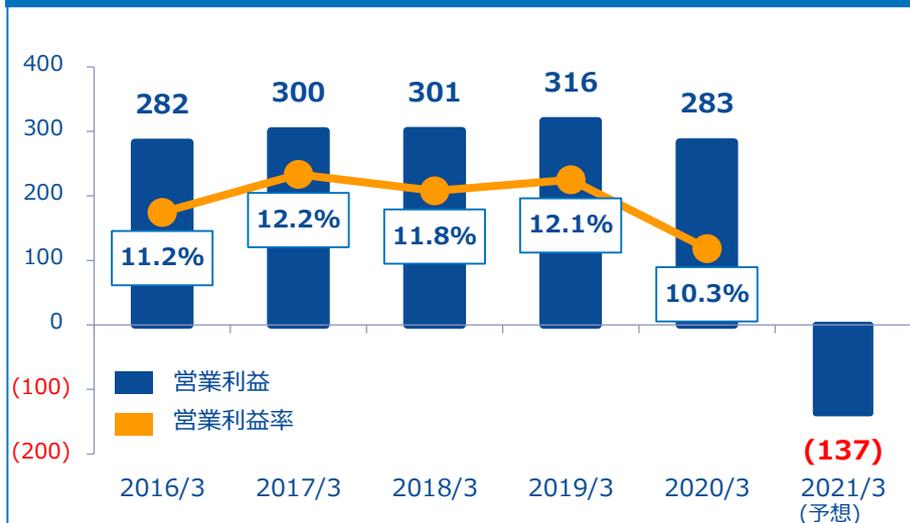
■ 営業収益

(単位：億円)



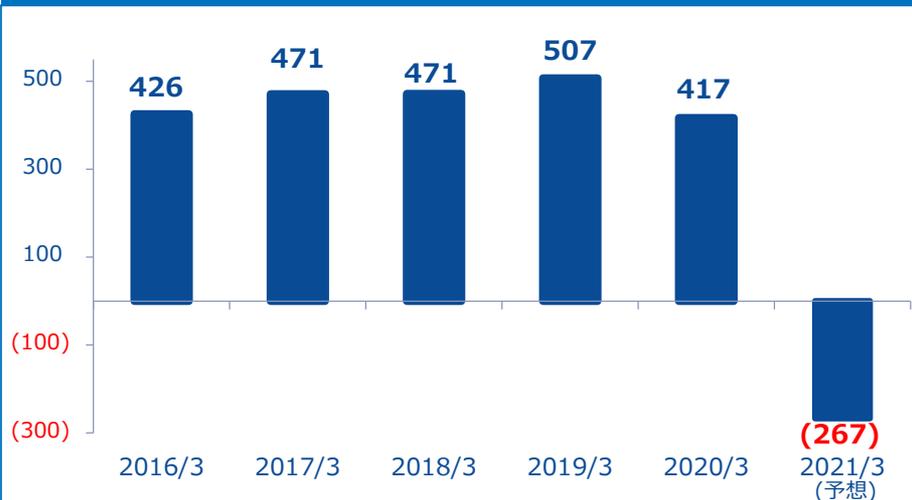
■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



■ 経常利益

(単位：億円)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)



5-4. 新型コロナウイルスへの対応について

■ 鉄道事業

・ 駅施設、車内の消毒



駅窓口の消毒



エレベーターボタンの消毒



トイレの消毒



つり革の消毒

・ つり革、手すり等の抗菌・抗ウイルス施工

・ 車内への啓発ポスターの掲出



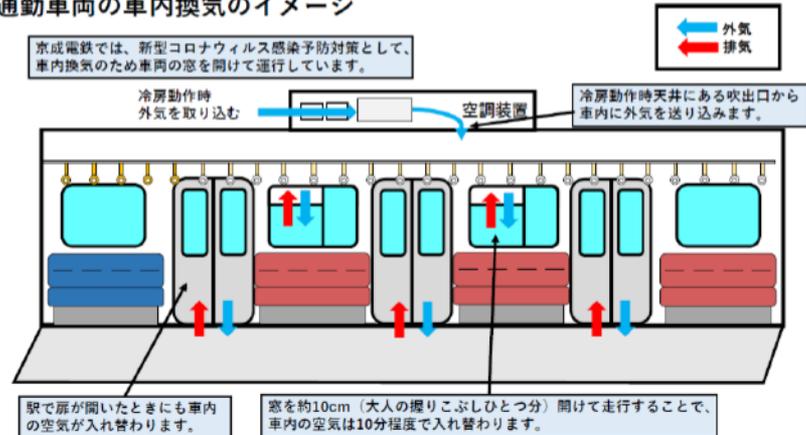
抗菌・抗ウイルスステッカー



啓発ポスター

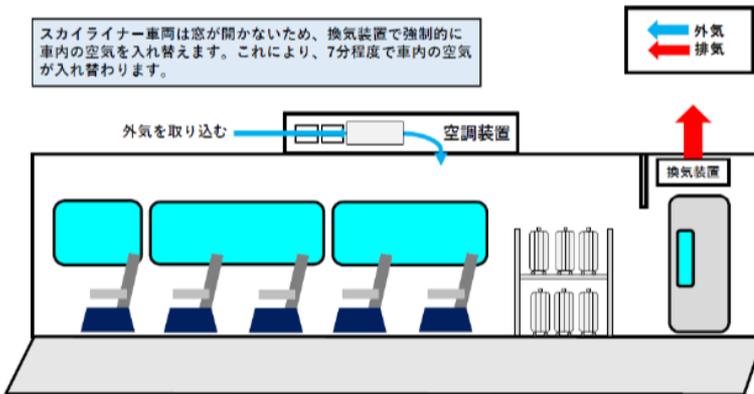
・ 車内換気

通勤車両の車内換気のイメージ



※イラストはイメージで、車両の構造を模式化したものです。

スカイライナー車両の車内換気のイメージ



※イラストはイメージで、車両の構造を模式化したものです。

5-4. 新型コロナウイルスへの対応について

■ バス事業

- ・新型コロナウイルスの感染防止対策について、報道関係者向けに説明見学会を実施
 - 営業所、車内での感染防止対策（消毒、飛沫感染対策用ビニールカーテンの設置等）を説明
 - 煙を使用し、車内換気の様子を実演



車内換気実演の様子

■ タクシー事業

- ・営業所、車内の消毒
- ・飛沫感染対策用ビニールカーテンの設置
- ・乗務員の健康管理の徹底



車内の消毒



乗務員点呼時の検温

■ その他

- ・従業員のマスク着用（グループ各社で実施）
- ・店舗、施設内への消毒液設置（流通、レジャー・サービス各社等）
- ・お会計時のトレー使用（水戸京成百貨店等）

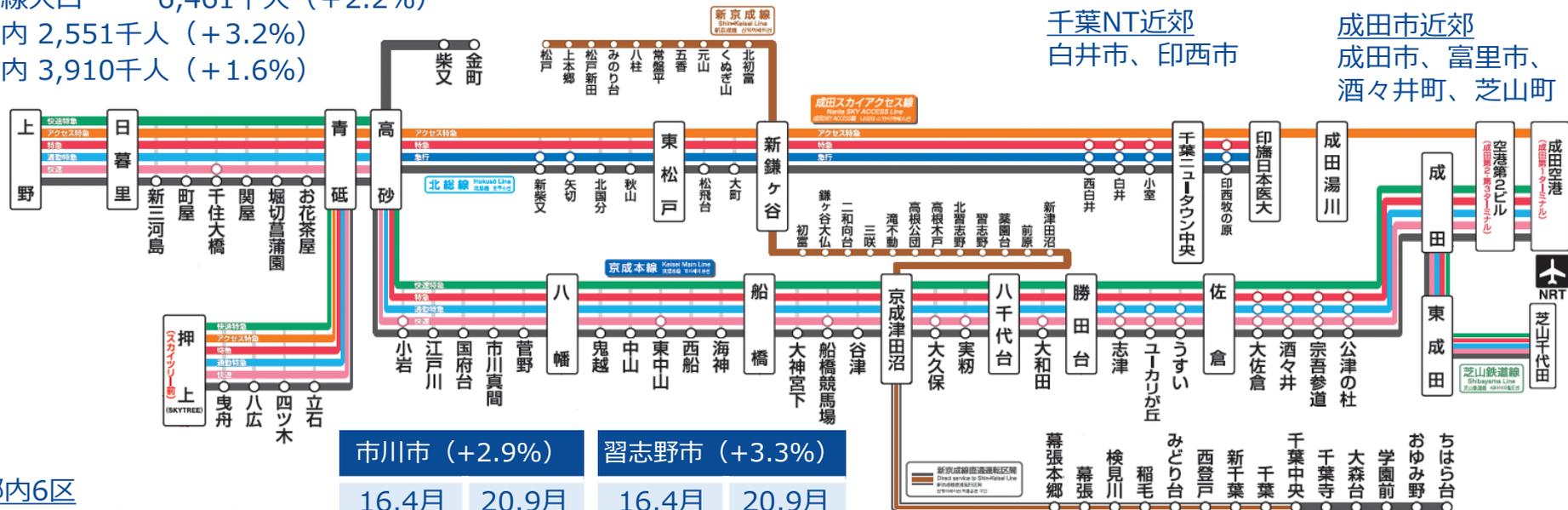
5-5. 沿線人口の推移

2020年9月、2016年4月（前中期経営計画「E3プラン」初年度）比

単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,461千人 (+2.2%)
 都内 2,551千人 (+3.2%)
 県内 3,910千人 (+1.6%)

松戸市 (+1.7%)		鎌ヶ谷市 (+0.4%)		千葉NT近郊 (+6.3%)		成田市近郊 (△0.2%)	
16.4月	20.9月	16.4月	20.9月	16.4月	20.9月	16.4月	20.9月
485	493	109	109	155	165	209	209



都内6区
 台東区、荒川区、足立区
 葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市 (+2.9%)		習志野市 (+3.3%)	
16.4月	20.9月	16.4月	20.9月
484	498	169	175

船橋市 (+2.6%)		八千代市 (+3.2%)	
16.4月	20.9月	16.4月	20.9月
624	641	194	200

佐倉市 (△1.4%)		千葉市 (+0.9%)		市原市 (△1.8%)	
16.4月	20.9月	16.4月	20.9月	16.4月	20.9月
173	170	973	982	274	269

都内6区 (+3.2%)	
16.4月	20.9月
2,472	2,551

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>